

スーパーグローバル大学創成支援事業 令和6年度事後評価結果表

大学名	会津大学
整理番号	B12
構想名	「心・技・体」三位一体による世界で活躍する革新的ICT人材の輩出

◇スーパーグローバル大学創成支援プログラム委員会における評価（公表用）

(総括評価)	
A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
(コメント)	
	<p>事業期間全体において、キャンパス国際化による多文化環境の提供を通じて、学生のニーズ、自主性に対応した様々なグローバルプログラムを構築しICT技術に国際性、創業マインドを持った競争力ある人材を輩出すべく、グローバル教育を持続的に牽引する環境の確立が進められたものとなっている。その展開に当たっても、「心・技・体」の三位一体による人材育成コンセプトを掲げ、改革の基本的取組みとして4つのプログラムを中核とするなど事業方針が明確化されており、実現可能性の観点が十分に検討されていたものであった。</p> <p>具体的には、実社会での国際的な活躍をイメージできる学修環境を構築することで、学生の受入・派遣などの項目で成果指標目標値を上回り、教職員のガバナンス改革を積極的に進めたことで、多様な教職員や学生を引きつけることに成功している。さらには、地元企業や自治体と連携して復興と地域創生と国際競争力の向上に繋がるICT拠点整備を進めていることは、貴学の特色ある取組みとして、今後の展開にも期待ができる。</p> <p>一方で、英語による授業の多さなど、高い理想を掲げたカリキュラム設計がなされているだけに、現状高いとは言えない学生の語学力の一層の向上は大きな課題であり、日本人学生の留学派遣もさらに促進していく必要がある。これらの改善のために、成果をあげている学部・大学院一貫のオナーズプログラムでの経験を活かし、専門科目を英語で受講するための橋渡しをする科目の充実、混住学生型寮の活用や留学生と地元企業との連携交流など、正課・正課外の双方での国際的取組への態度、技能、理解力を高めるきめ細かい工夫や共修を通じて、国際的なキャンパスと学修環境作りをさらに進めていくことが望まれる。大学の使命として掲げられている復興への貢献を実現する上でも、留学生を含めた地元地域への就職拡大のための取組強化や社会連携を通じた財源確保のさらなる強化により、事業終了後においても自走化を期待したい。</p> <p>最後に、スーパーグローバル大学創成支援事業による補助期間は終了したが、引き続き徹底した「大学改革」と「国際化」を断行し世界的に魅力的なトップレベルの教育研究を行い、我が国社会の国際化の牽引に寄与されることに期待する。</p>